

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第260日-261日

英語版はソフィア・オリーニックさんとマリヤナ・ザヴィシカさんによって作成されました。

解放。ヘルソン州 ウクライナ軍最高司令官ヴァレリー・ザルジニーは、11月9日、ウクライナはヘルソン近郊の1の入植地を解放したと報告しました。10月1日以降、ウクライナ軍は合計41の入植地を解放し、1381平方キロメートルに及ぶ領土を奪還しました。

11月9日、ロシアはヘルソンからの軍の撤退を発表し、交渉の準備に言及しました。ロシア当局のこの声明は、ロシア側による偽情報の可能性について、ウクライナおよび国際社会で多くの議論を引き起こしました。同日、ウクライナ大統領府の首席補佐官であるミハイロ・ポドリャク氏は、ウクライナは、ロシアがヘルソンを戦いなしで去る兆候を見ていないと述べました。ウクライナ国防副大臣のハンナ・マリャルは、ロシア人の言葉を信じるのは不可能であり、常に彼らの側から何かを備える必要があると述べました。同時に、11月10日、米国大統領の国家安全保障担当補佐官ジェイコブ・サリバンは、ロシア軍がウクライナのヘルソン市からの撤退を計画している証拠を米国が確認したと報告しました。また、戦争研究所は、ドニプロ川西岸からのロシアの撤退が、ウクライナ軍をヘルソン市の近くで命のかかる戦闘に誘い込むための罠である可能性は低いと推測しました。

攻撃を受けている都市 11月初めの時点で、ロシアの占領者は合計400機以上のイランのドローンをウクライナに向けて発射しました。それらのほとんどは撃墜されています。ドネツク州。10月9日の夜、ロシアの侵略者は、ヴフレダール市からソレダール市までの前線地域の民用物に向けて発射しました。また、ロシア軍はバフムツ市を攻撃し、1人が死亡、2人が負傷し、5の民家と行政庁舎が被害を受けました。ムコライヴ州。11月9日、ロシアの侵略者はミコライウ市を砲撃しました。砲撃の結果、1人が負傷し、パン屋、民間企業、民間住宅が被害を受けました。ハルキウ州。11月9日、ロシア軍は、接触線とロシアとの国境に近いハルキウ州の町や村で民間人を砲撃しました。ヴォフチャンスクのインフラ施設が被害を受けました。砲撃の結果、クピャンスクの店舗ビルで火災が発生し、1人が負傷しました。ドニプロペトロウシカ州。11月9日の夜、ドニプロ市はロシア軍によってイラン製のドローンで大規模な攻撃を受けました。その結果、4人が負傷し、市内の物流企業が被害を受け、企業の倉庫が破壊されました。

日中、ロシアの侵略者はニコポル地区を砲撃しました。その結果、マーハネット自治体で1人が死亡しました。11月11日の夜、ロシアの侵略者が再びニコポル地区を攻撃しました。ロシアの占領者は、ロケットランチャーと重砲で平和な町や村を攻撃しました。ニコポル市では、1人が負傷し、10棟の高層住宅と民家、ガソリンスタンド、ガスパイプライン、送電線が被害を受けました。

人権。ウクライナ大統領府のイェルマク事務局長は、ウクライナおよび国際人権団体の代表者との会合の後、情報人権本部がウクライナに設立されると発表しました。このハブは、グローバルな人権コミュニティとマスメディアにとって重要な、ロシアによる侵略中の人権侵害に関するデータを定期的に公開します。

ロシアの人権プロジェクトGulagu.netは、ヘルソンからの囚人が撤退の1週間前にロシア連邦の領土に緊急移送されたと報告しました。Gulagu.netは、囚人が受けたロシア軍による拷問についても報告しました。

アムステルダムの人権団体「Lawyers for Lawyers」は、ロシア当局に対し、リリア・ヘメジ氏、リュステム・キャミレフ氏、ナジム・シェイクマンベトフ氏のクリミア・タタール人弁護士の免許を直ちに復活させ、クリミアのすべての人権弁護士に対するあらゆる嫌がらせ行為を終わらせるよう求めています。

ロシア軍は死んだ兵士を一斉に戦場に残します。遺棄された死体は、戦闘地域にいるウクライナの軍人に衛生上および伝染病の脅威をもたらします。

瀘過。国際機関アムネスティ・インターナショナルの人権活動家は、ロシア軍が国際人道法の明らかな違反であるいわゆる「ろ過」を通過した後、子供を親から引き離れた少なくとも2つの事例を記録しました。アムネスティ・インターナショナルはまた、ロシアまたはロシアの支配下にある軍隊が、事前の「ろ過」プロセスの後に人々を恣意的に拘留した6件の事例を記録しました。目撃者は、拷問や、殴打、電気ショック、殺害の脅迫などの非人道的な扱いを受けたと語っています。彼らは食べ物、水、トイレへのアクセスを拒否され、他の収容者と一緒に過密状態の部屋に収容されました。

外交政策。11月10日、欧州議会 は、国境を越えた商品の輸送を容易にするために、ウクライナとモルドバとのEU道路輸送協定を承認しました。

11月8日、リトアニアの国会議員 は全会一致で決議を採択し、ロシアによる軍事侵略の継続、性的暴力の組織的かつ大規模な使用と継続的な使用、およびウクライナ国民に対するその他の戦争犯罪と人道に対する罪を強く非難しました。

ロシアのプーチン は、来週バリで開催されるG20カ国首脳会議に直接出席しないと、インドネシアのロシア大使館がCNNに述べました。

セルビアのヴチッチ大統領 は、セルビアはロシアに対する制裁を導入しないと述べました。大統領は、セルビアが「ダモクレスの剣」を頭上に置いた状態でのみ、ロシアに対する制裁を支持すると強調しました。

ウクル・オボロン・ブロム国家懸念 とチェコ共和国国防省傘下の政府間防衛協力局は、共同防衛クラスターの創設に関する協定に調印しました。これには、軍事装備の生産、弾薬の生産の増加、対空兵器の保守と修理のためのサービスハブの開発、およびハイテク分野での協力、特にジョイントの作成が含まれます研究センターです。

強制移住。冬が迫り、ロシアがウクライナの電力網と暖房施設を標的にしているため、[東ヨーロッパ諸国](#)は受け入れセンターを再開する準備をしており、ウクライナ難民が新たに急増する可能性を見越して食糧供給を補充している、とロイターは報じました。

エネルギー安全保障。[米国](#)はジェフリー・パイアット国務次官補(エネルギー資源担当)を任命し、米国政府によるウクライナへのエネルギー支援を国際パートナーと調整しました。米国国務省は、米国政府内で、エネルギー省、国防総省、米国国際開発庁、国家安全保障会議と協力して、ウクライナ政府からの要求を評価すると報告しました。タスクに適したリソースまたは機器を特定します。

2022年11月7日から9日にかけて、[南ウクライナの原子力発電所](#)は、未申告の核物質が存在しないことについて、国際原子力機関による検査に成功しました。

サイバーセキュリティ。[ウクライナ](#)では、毎日約10件のサイバー攻撃が行われていますが、ウクライナの専門家はこれを撃退することに成功しています。すべてのサイバー攻撃の90%はロシアの特別サービスによって実行され、残りはベラルーシと他の国のごく一部によって実行されています。エネルギー、インフラ、ロジスティクスは、ロシアの特別サービスの優先目標です。ウクライナ安全保障局のサイバーセキュリティ部門の責任者であるヴィチュック氏によると、ウクライナの安全保障局は毎月、約1,000件の偽情報キャンペーンを記録しており、これらは通常、ロシアの特別サービスによって調整されています。

健康管理。[ロシア](#)の全面的なウクライナ侵攻が始まって以来、ロシアの占領者は144の医療施設を完全に破壊し、958の施設に損害を与えました。損害の総額は10億ユーロを超えます。

制裁。[英国](#)は、ロシアのオリガルヒや、モスクワのウクライナ侵攻を巡って制裁を受けた個人や企業が保有する180億ポンド(205億ドル)以上の資産を凍結しました。

最近の世論調査。[キーウ社会学研究所](#)が実施した調査によると、ウクライナ人の60%が国民的抵抗の一部を感じています。別の32%は、敵への抵抗に少なくとも部分的に関与していると感じています。敵に対する抵抗の一部を感じていない、またはまったく感じていない回答者はわずか4%でした。

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年11月11日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約79,400人、戦車2814台、装甲戦闘車両(APV)5696台、砲兵システム1817台、多連装ロケットシステム(MLRS)393台、対空戦システム205台、固定翼航空機278台、ヘリコプター 261台、軽装甲車4259台、ボートおよび軽装ボート16台、運用戦術レベルUAV 1483台、特殊装備 159台、移動式短距離弾道ミサイルシステム 399台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- [ボランティア翻訳者](#)としてSharetheTruthsプロジェクトを支援してください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！